



私たちが歴史を動かす

今こそ労働組合が闘いの先頭へ！



戦争・非正規職化を許すな
ストライキでとめよう！

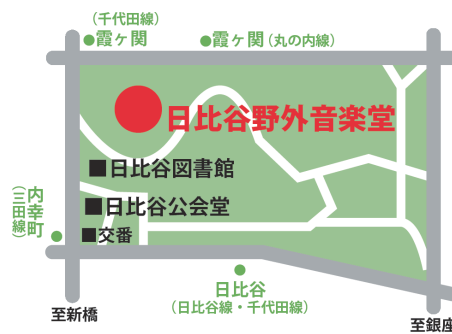
「戦争させない」「安倍はやめろ」——国会前は数万、10数万の怒りで連日埋め尽くされました。安倍政権が強行採決した戦争法に怒り、多くの仲間が声をあげたのです。闘いの火ぶたは切れ、歴史は動き始めました。

私たちの力で安倍を倒し戦争を止める。国会前の行動はその力を示し、歴史的勝利への出発点を築きました。これからが本当の闘いの始まりです。

何があっても戦争を止める。その闘いの先頭に労働組合がたつときです。労働者の団結した闘いが戦争を止める本当の力だからです。

貧困や格差、原発政策…。生きていけない社会

が作られる中で、戦争への扉も開かれます。だからこそ職場、学園から声をあげましょう。「闘う労働組合を甦らせよう」と訴える11・1全国労働者総決起集会への皆さんの大結集を訴えます。



11月1日(日) 12時
東京・日比谷野外音楽堂

戦争と民営化の安倍^政権^倒せ

韓国・民主労総 米、独、トルコ 世界の闘う労働者が参加

UAゼンセンを通じ労働運動の戦争推進勢力化を狙う

安倍政権は、総評解散・連合結成に次ぐ労働運動の再編を狙っています。

6月26日、安倍首相は連合傘下の労働組合であるUAゼンセンの逢見会長と極秘に会談しました。戦争法や労働法制について意見交換したといわれています。ここには、UAゼンセンを通じて連合を解体・再編する狙いがあります。

UAゼンセンは改憲や徴兵制にまで賛成している労働組合です。その前身のUIゼンセン同盟は08年「派遣切り」の時、派遣労働者の権利を守るために企業への規制を強化することに反対したことなどでも話題になりました。

この労働組合が10年ほどの間に組合員を2倍近くになるまで育成され、日本最大の労働組合になりました。そして、この組合を使って連合を分裂させようという議論が始まっています。

労働運動再編は戦争への道

日本の歴史の中で労働運動が再編されたことは過去3回しかありません。産業報国会、総評の結成、分割・民営化を経た総評の解散と連合結成です。

産業報国会は第2次世界大戦へ。総評結成は朝鮮戦争へ。労働組合の再編は戦争へとつながりました。

そして、分割・民営化—総評解散・連



6月26日 UAゼンセン逢見会長と安倍首相が密会

安倍の労働運動再編ゆるすな！

改憲・戦争・徴兵制を推進するUAゼンセン

▼改憲・戦争を推進

「他国またはテロによって国家の主権が侵され、国民を守れない事態にならないように国家権力は国家の安全保障体制を保持する義務があることも憲法に明記せよ」「現行憲法の改正を是とする方向を支持する」

(2006年 UIゼンセン同盟第5回大会)

▼徴兵制・集団的自衛権行使を主張

「国民主権を原則とする主権国家の防衛を考えると、単純に、徴兵制は採らない、とうたうことは、“自らは戦わない”と表明することになる」

「集団的自衛権の行使も可能とせよ」

(2005年10月 連合本部の見解に対し当時のUIゼンセン同盟・高木会長)

合結成は労働運動への全面戦争の始まりでした。そして現在、安倍政権は今の連合すら認めず、戦争推進勢力にしようとしています。

労働運動をつぶさせないことが問われています。だからこそ、これと闘い続けてきた国鉄闘争の位置は本当に大きなものです。

闘いはこれからです。職場から声をあげ、労働運動再編をゆるさず、戦争を絶対に阻止しましょう。

「パククネ打倒」を掲げ2波のゼネストを闘った韓国・民主労総。3次ゼネストを構え闘っている。



ゼネスト闘う韓国・民主労総 戦火の中東・トルコから参加

11月労働者集会には、世界各国から闘う労働者が参加します。

韓国から参加する民主労総の仲間たちは、今年4月と7月に2波のゼネストを闘いました。労働者の権利を奪い、非正規職に突き落とし、組合を破壊する攻撃に対し、「パククネ政権打倒」を掲げて闘ったのです。

そして、第3次ゼネストを構え、パククネ政権打倒の闘いにたちあがっています。まさに日本の私た

ちと同じ課題に立ち向かい、世界の労働者の先頭で闘っています。

アメリカ・ドイツからも闘う仲間が参加を表明しています。

さらに、戦火の広がる中東からトルコ国際労働者連帯協会 (UID-DER) の国際関係委員会代表が集会に参加します。

「中東は血の海です。政府とエルドアン大統領により、トルコは戦火に叩き込まれています」「労働者の国際的団結と共同闘争がかつてないほど重要になっています」と集会への参加を決意してくれました。

現実の戦争に駆り出されるのは、すべて労働者です。労働者が国境を越えて団結するなら、戦争は絶対にとめられます。